

FC Ryukyu Coin に関する定期情報開示

琉球フットボールクラブ株式会社の財務情報は2022年5月31日時点、その他の情報は2022年7月31日時点の情報を開示しております。

項目	内容
(1) 発行者の情報	
イ) 発行者の名称、所在地 及び 登録番号	発行者の名称：琉球フットボールクラブ株式会社 所在地：沖縄県沖縄市安慶田5丁目1番16号 会社法人等番号：4360001017029
ロ) 発行者の沿革	琉球フットボールクラブ株式会社の運営するプロサッカークラブ FC 琉球は、2003年に沖縄県初のJリーグ参入を目指すサッカークラブとして発足し、2006年に沖縄県のクラブとしては初の全国リーグ（JFL）に昇格し、2014年に日本プロサッカーリーグ（J3リーグ）に加盟。攻撃的でエキサイティングな「琉球スタイル」のサッカーを確立し、2018年には、J3リーグ史上最速での優勝を実現し、J2リーグ昇格を果たしました。現在、沖縄初のJ1リーグ昇格に向けて様々な活動を展開しています。
ハ) 発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	琉球フットボールクラブ株式会社は、プロサッカークラブ FC 琉球の運営や沖縄県内でのサッカー競技の普及、選手育成活動、また各種地域貢献活動等の企画・運営を行っています。
ニ) 発行者の役員の名氏及び経歴	代表取締役会長兼社長 倉林 啓士郎 東京大学卒業。在学中に株式会社 DeNA にてモバイル新規事業を担当。事業立ち上げの経験を生かし大学4年時に起業、スポーツブランド事業を手掛ける株式会社イミオを設立。2016年に琉球フットボールクラブ株式会社の代表取締役社長に就任、2020年に同代表取締役会長に就任、2022年4月から代表取締役会長兼社長。 代表取締役副社長兼スポーツダイレクター 廣崎 圭 早稲田大学卒業。卒業後はエリース東京でプレーし、2001年に SC 鳥取（現：ガイナレ鳥取）へ移籍。2005年に現役を引退して、SC 鳥取で実行委員代理や強化部長を歴任。2008年から日本サッカー協会（JFA）のマッチ

	<p>コミッショナーを2014年からJリーグでマッチコミッショナーを務め、2018年にJリーグマッチコミッショナー委員に就任。2018年12月、琉球フットボールクラブ株式会社の取締役役に就任。</p> <p>執行役員 荻原 直樹</p> <p>神戸大学卒業。株式会社アスクプランニングセンターを経て2003年に東京建物株式会社へ入社。オフィスビルのプロパティマネジメント、テナントリーシング、リゾートホテル開発運営事業等に従事。2020年4月に琉球フットボールクラブ株式会社へ入社、パートナー営業活動全般の業務に従事。2022年4月に同社の執行役員に就任。</p> <p>執行役員 植村 侑太</p> <p>立教大学卒業。みずほ銀行入行後、2017年に琉球フットボールクラブ株式会社へ入社、バックオフィス全般の業務に従事。2022年4月に同社の執行役員に就任。</p>
<p>ホ) 発行者の業績の概要</p>	<p>琉球フットボールクラブ株式会社の2023年1月期における2022年2月1日から2022年5月31日までの累計売上高は510,538千円、経常損益は182,180千円、当期純損益は182,180千円となりました。</p> <p>※累計実績は、琉球フットボールクラブ株式会社が運営するサッカークラブFC琉球の事業活動及びトークンの販売による実績を含みます。</p>
<p>へ) 発行者の財務の状況</p>	<p>琉球フットボールクラブ株式会社の財務の状況は以下の通りです。IEOの会計処理については、今後の会計基準公表などの動向によっては遡及的に修正される可能性があります。また、数字は月次決算数字となり、年度決算の過程で修正される可能性があります。</p> <p>2023年1月期における2022年2月1日～2022年5月31日累計実績</p> <p>【資産の部】</p> <p>流動資産：1,327,568（千円）</p> <p>固定資産：16,118（千円）</p> <p>資産合計：1,343,687（千円）</p> <p>【負債の部】</p>

	<p>流動負債：992,691（千円）</p> <p>固定負債：92,626（千円）</p> <p>負債合計：1,085,317（千円）</p> <p>【純資産の部】</p> <p>資本金(資本準備金含む)：318,650（千円）</p> <p>利益剰余金：▲60,280（千円）</p> <p>負債純資産合計：1,343,687（千円）</p> <p>【損益計算書】</p> <p>売上高：510,538（千円）</p> <p>経常利益：182,180（千円）</p> <p>当期純利益：182,180（千円）</p>
ト)発行者の社員数、組織及び機関	<p>[2022年7月31日時点]</p> <p>社員数：15名</p> <p>組織及び機関：取締役会を設置。組織としては経営企画室、業務管理部、事業本部、強化・育成部で構成されています。</p>
チ)発行者の株式の状況	<p>[2022年7月31日時点]</p> <p>発行済株式総数：7,415株</p> <p>筆頭株主：株式会社FCRマーケティング</p> <p>保有株式数：1,950株(保有比率26.3%)</p>
リ)発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	<p>取締役会設置会社として、定期的に取り締役会を開催しております。また、監査役を設置し取締役の職務執行も対象とした監査役監査を実施しております。</p>
(2)新規暗号資産の発行及び販売等の状況(追加発行等の状況を含む。)	<p>琉球フットボールクラブ株式会社は、2022年5月18日付でIEO (Initial Exchange Offering)における新規発行トークンの販売を行いました。販売の概要は以下のとおりです。</p> <p>新規暗号資産の名称：FC Ryukyu Coin (FCR)</p> <p>新規暗号資産の総発行量：1,000,000,000 FCR</p> <p>新規暗号資産の販売総量：450,000,000 FCR</p> <p>新規暗号資産の販売価格：2.2円/FCR</p> <p>新規暗号資産の販売総額：990,000,000円</p>
(3)発行者及びその関連当事者が保有す	<p>琉球フットボールクラブ株式会社は、527,585,022 FCR (アドバイザー配布分ロックアップを含む)を保有しています。当社の保有数量は、85,022</p>

<p>る新規暗号資産の総 量及びその内訳</p>	<p>FCR 増加しております。なお、2022 年 7 月 31 日時点において、当社保有分の売却は行っておりません。</p>
<p>(4) 新規暗号資産の 市場価格の推移</p>	<p>FCR の市場価格の推移は以下のとおりです（2022 年 7 月 31 日時点）。</p>  <p>参照： https://coin.z.com/jp/corp/information/fcr-market/</p>
<p>(5) 対象事業の進捗 の状況</p>	<p>琉球フットボールクラブ株式会社は、FCR コイン保有者のプラットフォーム「FC RYUKYU SOCIO」を通じた FCR コインの用途開発・事業化を進めており、2022 年 7 月 31 日時点で、以下のサービスに関する発表がなされております。</p> <p>① トークンパートナー</p> <p>一定数のコイン保持者に対して、トークンパートナー（プラチナパートナー、ゴールドパートナー）としてスタジアムバナーへのロゴ/氏名の掲載や限定交流会への参加、ホームゲームへの招待の権利を付与しております。トークンパートナーに FCR コインを保持いただくことで、クラブに長期的なご支援をいただいております。</p> <p>② コイン送付機能</p> <p>「FC RYUKYU SOCIO」を通じて、FCR コインを選手・クラブに送付する機能をリリースしております。ファン・サポーターと選手・クラブが、直接かつ双方向に応援や感謝を伝えることができ、両者の繋がりをより密なものとするビジョンを実現していきます。</p> <p>③ 投票機能</p> <p>「FC RYUKYU SOCIO」上で、コイン保持者がクラブからの提案に対して投票する機能をリリースしております。一人ひとりが、クラブ運営に関して自らの意思を伝えることができ、透明性のあるサッカークラブ運営のモデル</p>

	<p>ケースを目指します。</p> <p>④決済手段としての利用 FCR コインで公式オンラインショップ及びホームゲーム出店店舗で使用できるクーポンを購入できる機能をリリースしております。決済手段としての機能を持つことでFCR コインの価値拡大も期待できます。今後は沖縄県内を中心に「FC RYUKYU SOCIO」加盟店を増やし、さらなる価値拡大を目指します。</p> <p>⑤選手に対する報酬としての利用 6月に新加入したブラジル出身のケルヴィン選手、7月に新加入したガーナ出身のサダム スレイ選手、スペイン出身のアレックス バレラ選手の契約報酬の一部が、FCR コインにて支払われることになっております。また、試合中で最も活躍した選手に与えられるマン・オブ・ザ・マッチの報酬として、FCR コインが支払われる予定でおります。</p>												
<p>(6) 調達資金の全部又は一部を使用した場合には、使用した資金の額等及び使途の内容</p>	<p>IEOにより調達した資金の用途は以下のとおりです。2023年1月期の年間計画値（5ヵ年計画を均等分割）総額に対して、2022年7月31日までの支出額を記載しております。</p> <table border="1" data-bbox="491 1160 1347 1960"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 1160 676 1429">資金使途</th> <th data-bbox="676 1160 836 1429">年間計画 (千円)</th> <th data-bbox="836 1160 1007 1429">支出額 (2022年7月31日まで) (千円)</th> <th data-bbox="1007 1160 1347 1429">資金使途の内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 1429 676 1749">FC 琉球のクラブ運営・強化費・育成費</td> <td data-bbox="676 1429 836 1749">79,200</td> <td data-bbox="836 1429 1007 1749">19,383</td> <td data-bbox="1007 1429 1347 1749">J1 昇格を目指す FC 琉球のクラブ運営、強化(選手獲得)、アカデミー育成強化(FC 琉球高等学院の奨学金制度の充実など)に活用されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1749 676 1960">FC RYUKYU SOCIO のシステム開発・運用・マーケティング</td> <td data-bbox="676 1749 836 1960">79,200</td> <td data-bbox="836 1749 1007 1960">41,086</td> <td data-bbox="1007 1749 1347 1960">FCR を活用した FC RYUKYU SOCIO アプリケーションの初期及び追加開発・運用・マーケティングによ</td> </tr> </tbody> </table>	資金使途	年間計画 (千円)	支出額 (2022年7月31日まで) (千円)	資金使途の内容等	FC 琉球のクラブ運営・強化費・育成費	79,200	19,383	J1 昇格を目指す FC 琉球のクラブ運営、強化(選手獲得)、アカデミー育成強化(FC 琉球高等学院の奨学金制度の充実など)に活用されます。	FC RYUKYU SOCIO のシステム開発・運用・マーケティング	79,200	41,086	FCR を活用した FC RYUKYU SOCIO アプリケーションの初期及び追加開発・運用・マーケティングによ
資金使途	年間計画 (千円)	支出額 (2022年7月31日まで) (千円)	資金使途の内容等										
FC 琉球のクラブ運営・強化費・育成費	79,200	19,383	J1 昇格を目指す FC 琉球のクラブ運営、強化(選手獲得)、アカデミー育成強化(FC 琉球高等学院の奨学金制度の充実など)に活用されます。										
FC RYUKYU SOCIO のシステム開発・運用・マーケティング	79,200	41,086	FCR を活用した FC RYUKYU SOCIO アプリケーションの初期及び追加開発・運用・マーケティングによ										

	ケティン 費			るユーザーの拡大、FCR を利用する新規加盟店や コンテンツ獲得などエコ システムの拡大に使用さ れます。
	FCR コイン発 行・運用費 用	23,760	22,967	FCR の発行・安定運用に おいて必要となる暗号資 産交換業者への発行手数 料や法務・会計周り費用 に使用されます。
	予備費用	15,840	0	
	合計	198,000	83,436	